

2018年度 幸福の科学学園関西中学校・高等学校 学校評価

本年度の学校目標

- ・「高貴なる義務」を果たす、「徳ある英才」を育てる。
- ・宗教教育によって、神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った人材を育てる。
- ・規則正しい生活習慣と学習習慣の確立により、学力向上を目指す。

	領域	重点評価項目	教職員	生徒	学校関係者	総合評価	備考
1	学校経営	学校では、宗教教育を基に神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った「高貴なる義務」を果たす人材づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、学習活動、学校行事、部活動などで特色のある教育活動が行われている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
2	学習指導	カリキュラムは、生徒の学力・個性を伸ばし、将来の希望を実現するように工夫されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の学び意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、授業の中で教材や教え方に様々な工夫をし、学習する内容をていねいに指導している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、より高いレベルを目指す生徒へ配慮した教科指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。	B	B	B	B	教職員・生徒・学校関係者
3	生徒指導	学校は、宗教科の授業などで、仏法真理に基づいて、善悪の判断や他人を思いやる心を育てている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の自立・自律する気持ちを大切に生活指導を行っている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、適切な人権教育を行い、人権が尊重される学校づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に対して、挨拶・服装・遅刻などの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
4	進路指導	学校は、生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に必要な進路情報や資料を収集し、適切に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に大学進学に向けた実力養成の機会(講習・模試など)を十分に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、あなたの文系理系の選択や科目の選択について十分に指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
5	特別活動等	体育祭や文化祭(翔龍祭)など、生徒にとって有意義な学校行事を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校の部活動は、顧問の指導の下、活発で有意義な活動になっている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図り、学校生活をよりよいものにしていく。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
6	保健・安全管理	学校は、交通安全・防災・健康教育に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
7	教育環境	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
8	事務・管理	学校は、教育活動に必要な備品、消耗品についての整備をしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、個人情報の管理を含め、適切な文書管理を行っている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
9	保護者・地域との連携	学校は、地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源を活用し、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	B	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、保護者の意見を聴き、積極的に保護者会活動を推進している。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、さまざまな機会を通して、地域との連携を深めるように努めている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、文書やメール、ホームページなどによって、学校の情報を保護者や地域の人々に適切に伝えている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者

2018年11月19日(月)～2018年12月19日(水) 教職員、生徒、学校関係者にアンケート形式で実施

評価表の見方 本年度の教育活動に対する総合評価をABCDEFの6段階評価で示す

・評価者は教職員・生徒・学校関係者の3者を原則とするが、一部、3者によらない例外も設定されている。

・ABCDEFの基準は、アンケートを集約した結果、肯定的な評価(85%以上)=A、(85%未満～70%以上)=B、(70%未満～55%)=C、(55%未満～40%)=D、(40%未満～25%)=E、(25%未満～)=Fとする。

2018年度 学校評価に対する分析・総括および保護者の皆様のご意見に対するご回答

2018年度の学校評価（自己評価・学校関係者評価）に対する分析と総括をさせていただきます。また、学校評価アンケートにおいて、保護者の皆様から様々なご意見・ご要望をいただきましたので、特にご意見の多かった項目をご回答させていただきます。

【分析・総括】

2018年度は全体を通じて、概ね肯定的な評価となりましたが、更なる学園の改善のために教職員自身の自己変革を図ると共に、保護者の皆様や地域の関係者と連携しながら教育活動の充実に努めてまいります。

評価がBだった項目は、「学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている」で、昨年と同様でした。対策に関しては、「ご意見・ご要望」の欄に記載しましたので、ご覧ください。

昨年と違った項目では、生徒のアンケートで、「学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている」がB評価でした。図書館の蔵書がまだ少ないことや、生徒に対する図書館利用の発信が十分でないことが考えられます。今後、図書委員会の生徒達と共に、魅力的な図書館づくりに尽力してまいります。

【ご意見・ご要望】

○子供の学力が伸び悩んでいます。学園ではどのように対策していますか。

⇒学力に関して、開校当初より、英語・数学は習熟度別にクラス分けをして、各生徒の学力に合わせた指導をしています。本年度より、次のような対策も始めています。例えば、中学では学力が伸び悩んでいる生徒向けに、放課後週2回の補習を始めました。また、宿題の量や内容についても見直しを図って、授業の復習をしっかりさせるようにしています。今後も、対策を重ね、丁寧に指導してまいります。

○遠方に住んでいるので、保護者同士の交流がありません。他の保護者に相談できるような方法があれば助かります。

⇒各地方で保護者会を開催し、そこに教職員や保護者会役員の方が参加し、いろいろなご相談やご意見を聞く場を設けています。保護者会開催のご希望の地方があれば、お気軽にご相談ください。また、年数回、保護者会通信を作っていますのでご覧ください。

○寮にときどき入るのですが、部屋が散らかっていたり、作務が行き届いていないのが気になります。

⇒ご指摘、ありがとうございます。現在、各生徒部屋は、毎朝、寮講師がチェックし、散らかっている生徒には、個別に指導をして整理整頓させています。公用スペースは朝の作務の時間に行っていますが、中学生など作務の仕方が分からない生徒もいますので、作務の手順表の見直しやチェック表をつくり、徹底しているところです。

○寮に入っているのですが、子供の様子があまりつかめていません。もっと教えてください。

⇒寮生活や学校生活の様子は、寮職員や担任から小まめに伝えるように心がけていますが、まだまだ十分ではなく、申し訳ございません。さらに徹底してまいります。また、本年度より、定期的に寮通信をメールしたり、ホームページの保護者サイトを使って、学校生活・寮生活の様子をお伝えしておりますのでご覧ください。